

# 令和3年度 第6回 理事会議事録

日時：令和3年11月30日（火）19：00～20：40

場所：Web会議、県士会事務所

出席：（理事）磯野、高村、三科、小林、井村、名取、  
北山、菊池、鈴木、大西、平賀、有泉  
（部長）秋山、秩父、小林（泰）

書記：笹本

## 会員管理情報

慶事2件(他2件) 弔事1件 施設数144

会員数939名(施設874名 自宅65名)

## 磯野会長より挨拶

残す所1ヶ月となった。前回の理事会後の動きとして、11月9日に県士会の中間監査、11月18・19日に神戸で開催されたリハケア大会に出席、11月20日は茨城県の50周年記念に出席した。リハケア大会は、来年が北海道、再来年が広島県、2024年は山梨県で開催される。茨城県の50周年記念は、約80名が参加し知事、関係団体や政治家の多くが来賓として参加しており、関係づくりが出来ていると印象を受けた。11月22日は関東ブロックの士会長会議があり、規程が再考となったので明確になったら報告をしたい。

- I. 令和3年度中間監査について：谷村監事、齋藤監事  
事業監査については、1)年度途中で会長業務が引き継がれコロナ渦の状況の中、滞りなく事業実施が行えていた。2)COVID-19関係の研修会は、実際の体験談などの企画を検討して欲しい。3)山日への掲載PR効果は大きい。来年以降も続けられるよう検討して欲しい。4)各種表彰について条件を確認し、該当者がいれば推薦するように提言。5)士会理事会などの情報の公開・提供をどのように行うか検討が必要。6)eラーニング受講者を含む新人教育プログラムの受講者数を報告して欲しい。

財務監査については、1)2025年開催予定の関東甲信越ブロック学会に向けた特別事業積立金について、どのように積み立てていくか検討して欲しい。以上の提言があった。

## II. 審議事項（全4題）

1. サポーターズNo.159号と創立50周年記念誌の合併発行について：50周年委員会、広報局  
士会会報誌サポーターズNo.159号と創立50周年記念誌を合併号としたい。

### 質問

- ・記念誌について、以前の理事会でCD配布の話があったが、合併発行の場合は紙で発行するのか。  
→発行方法については、検討中。各会員へはDVD、各

施設・協賛企業・各士会へ紙媒体を考えている。紙媒体の場合はDVDも一緒に同封する。費用はDVD配布を含む場合は60万円程度、紙媒体で全員に配布する場合は90万円程度となる。媒体については委員会内でも意見が分かれており継続審議中。

- ・サポーターズと記念誌の予算はそれぞれ別と認識している。支出先に問題はないのか。
- ・画像や動画は士会HPで提示することはできないのか。  
→HPについては、要領等詳細のことが分からず、回答難しい。
- ・50周年という区切りの年になる。記念誌はどのようなイメージとなるのか。
- ページ数は40周年の記念誌と同程度の70P前後。内容は、祝辞、記念講演、50年間の歩み等になる。紙面では伝えにくい動画や写真等をDVDに入れて50周年の記念誌にしていこうと考えている。

### 意見

- ・DVDのみだと見ない方が多いかもしれない。紙媒体での合併号の方が良い。
- ・個人的にはDVDだけの配布でも良いが、PCに慣れていない方は対応が難しい可能性がある。
- ・DVDが来ても見ない可能性がある。また最近のPCの中にはDVDドライブがついていない物がある。合併号は賛成。紙媒体とDVDと一緒に送るよりは、紙のみにして動画などのデータは、クラウドなどネット環境にアクセスしてダウンロードする方法はどうか。
- ・紙媒体の方が良い。合併誌よりはサポーターズと記念誌は分けた方が良い。業務の負担を考え、サポーターズの発行日をずらしても良いのではないか。
- ・50周年は重みがあるので、サポーターズと記念誌は分けて考えた方が良い。外に出す記念誌については、紙媒体が良い。

### 結論

- ・サポーターズと記念誌の合併号はしない。  
(サポーターズは、発行日がずれても構わない)
  - ・会員宛ての媒体は、紙かDVDかネットを介するのかは、再度検討をする。
2. 第21回地域理学療法研修会開催の単位申請をしていなかった件について：福祉厚生局地域連携部  
2021年3月に開催した地域理学療法研修会は、新人教育プログラムの単位認定対象となっていたが、協会へ単位申請をしていなかったことが、参加者からの問い合わせで発覚。参加者13名のうち2名が別のeラーニング受講で新人教育プログラムの単位を取得した。協会へ単位申請をしていなかったこと、メールでの問い合わせに対して確認・対応の遅れがあった。eラーニングの受講費等の2名への補償について検討したい。

## 質問

- ・費用弁償については、該当者から話が出ているのか。  
→該当者からは出ていない。
- ・該当者は、新人プログラムを修了できたのか。  
→確認はしていないが、経緯から今年度修了予定できると推測している。
- ・謝罪は既に行ったのか。  
→謝罪は行った。

## 意見

- ・不備があったことは謝罪をする。
- ・研修費については、研修会の目的はポイント取得ではなく、自分の知識技術を高めるもので、ポイントはそれに付帯してくる物である。今回、追加で研修を受けたが、該当者は不利益になっておらず、寧ろ知識が増える機会となった。実際に受講をされているし、費用弁償は必要ないと考える。

## 結論

- ・研修費の補償は行わない。
3. フレイル予防体操のデータについて：企画局  
昨年度、フレイル予防体操のチラシを配布し、県士会 HP にも掲示した。しかし、HP 掲載のチラシ内に「山梨県理学療法士会」の名称が無く記載していなかった。業者へ修正の問い合わせを行った所、1 万 I 千円で対応が可能という回答であった。

## 意見

- ・「山梨県理学療法士会」の名称は入った方が良い。業者へ修正を依頼する方針が良いと思う。

## 結論

- ・業者に修正を依頼する。
4. 士会の事業説明会と活動報告について：磯野会長  
コロナ禍の中、会員へ県士会活動が伝わりにくい状況である。特に 1～3 年目の会員や士会の組織力を考えると各施設の PT トップの方々に理解をしていただきたい。そこで 12 月 17 日 19 時～オンラインで説明会を行いたい。内容は、1) 山梨県理学療法士会理事紹介、2) 50 周年記念事業の動画、3) 各施設紹介を考えている。理事紹介は、画面の切り替えに時間がかかるためパワーポイントで一人一枚紹介をしたい。

## 意見

- ・画面切り替えは時間がかかるため、パワーポイント 1 つにまとめる案は良い。
- ・録画ではなく、ライブの方が臨場感があり良い。
- ・当日録画をして、参加出来なかった方に対して県士会の HP で観れるようにしたらどうか。→対応を検討する。
- ・パワーポイントのデザインや様式を統一した方が良いので、雛形があると有難い。→対応をする。
- ・一括メールが届いている、いないの判断については、「このメールを受け取ったらグーグルフォームに

回答してください」と一文付けると判断が出来るのではないか。→対応をする。

## 結果

- ・士会の事業説明会と活動報告は案の通り行う。
- ・理事紹介はパワーポイントとする。各理事の提出期限は、12 月 14 日(火)とする。

## II. 報告事項

### 1. 各委員会等の報告

- ・COVID-19 対策委員会

COVID-19 対策委員会主催の第 1 回講演会について、令和 4 年 2 月 10 日(水)の 19 時 00 分～岡安先生(東京医科歯科大学附属病院 理学療法士)を講師に開催する。

- ・災害対策支援委員会

①JIMTEF スキルアップ研修会参加報告について、11 月 20 日(土)にオンライン開催。大野先生(富士川病院)、宮下先生(甲州リハビリテーション病院)が参加した。

②山梨県地震防災訓練参加報告について、11 月 14 日(日)に山梨市市役所東側駐車場(東館保健センター)で実施。PT 磯野会長、OT 磯野先生、ST 石田先生が参加した。

③山梨県リハビリテーション専門職団体協議会三士会災害対策支援委員会研修会追加報告について、令和 4 年 3 月 11 日(金)にオンラインにて日本作業療法士協会の中村会長、磯野先生(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)、小林先生(県立中央病院)を講師に開催する。

- ・山梨県リハビリテーション専門職団体協議会：小林副会長  
11 月 21 日に高校生 1 日リハ体験をオンラインで開催。約 90 名の高校生が参加した。12 月 18 日は都合で参加できなかった生徒を対象に録画した動画を流す予定。

### 2. 理学療法士講習会(応用編)開催の報告について： 学術研修局 委託講習会部

10 月 30 日(土)～31 日(日)に山梨リハビリテーション病院で「脳卒中片麻痺者への上肢アプローチ」をテーマに、鮎川先生、小嶋先生、佐藤先生、石崎先生、大塚先生(山梨リハビリテーション病院)講師に開催。33 名の参加があった。

### 3. 2021 年度第 4 回学術研修会開催報告について：学術研修部

11 月 21 日にオンラインで「心不全の運動療法エビデンス」をテーマに神谷先生(北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科)講師に開催。55 名の参加があった。

### 4. 医療・介護報酬に関する基礎的研修会開催について

て：福祉厚生局介護保険部（医療保険部）

10月25日（月）にオンラインで「基礎から学ぼう！医療・介護保険制度」をテーマに水上先生（赤坂台病院）、遠藤先生（山梨ライフケア・ホーム）講師に開催した。11名の参加があった。

5. 「令和3年 テーマ別介護講座」について：社会局委託事業部

山梨県立介護実習普及センターより講師派遣依頼を受け、11月5日（金）に「本人の力を引き出す介助の方法」をテーマに小沢先生（山梨福祉総研）が派遣。16名の参加があった。

6. 国際テニス大会について：社会局 スポーツ理学療法部

ATF-U14、ITF-U18の国際テニス大会は今年依頼はなし。COVID-19の影響で2年程スタッフ派遣ができなかったことが原因と考えられる。

7. 関東高校選抜大会（レスリング）について：社会局 スポーツ理学療法部

協力依頼があったため、R4年2月5日（土）～6日（日）に小瀬スポーツ公園武道館で大会の医務トレーナー活動を行う予定。

8. 生涯学習局新人教育研修部：北山局長

第2、3回新人教育研修会と新生涯学習制度説明会をオンラインで開催。第2回新人教育研修会はA-1「理学療法と倫理」を有泉先生（あけぼの医療福祉センター）、B-4「症例報告・発表の仕方」を玉木先生（健康科学大学）講師に実施。

第3回新人教育研修会は、E-3「国際社会と理学療法」を渡辺先生（帝京科学大学）、D-1「社会の中の理学療法」を小林先生（白根徳洲会病院）講師に実施。

次回は、12月6日にA-3「リスクマネジメント」を奥脇先生（山梨県立中央病院）講師に開催予定。新生涯学習制度説明会は、11月24日に白石先生（日本理学療法士協会）を講師に55名が参加した。来年の2月頃に第2回を予定している。

9. 協会の広報関連担当者の意見交換会について：広報局

11月29日に協会の広報関連担当者の意見交換会があり参加した。徳島県では動画を作成しケーブルテレビに流していた等各県の取組を聞く機会となった。広報部と共有して今後に生かしていきたい。

定に従った活動費（日当）、1000円／日の食費を支給した。ただ、当初予定されていなかったオリパラ実行委員会から一人1日1000円の支給が振り込まれた。規定では主催者から支給があった場合、士会からは支給しないとあるが、今回はあまりにも少額であるため、今回の理事会の承認を得て士会からの支給は行う。今後規定の見直しを検討する。

③メール配信について

登録者数は732名（11月28日現在）。そのうちエラーメール者数は約40名。R3年度のメール配信数は52件であった。

日時 令和3年12月28日（火）19：00～

場所 Web会議

連絡 12月24日（金）までに審議事項および資料を事務局（有泉理事）へ提出する。

議題がない場合でも事務局へ連絡する。

### III. 事務局から

①協会との意見交換会について

1月25日（火）に理事会18：30～20：00、意見交換会20：00～21：00の予定。

②オリパラ委員の活動費（日当）について

活動したスポーツ部の方々に対して、士会の旅費規